

事業所名

のんたん(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

7年

2月

10日

法人(事業所)理念	子どもたちが一人ひとり社会の中で自立して生きていくことを目指し自律出来る力を育む				
支援方針	個々の障害の特性にあった支援が出来る				
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし
目標	子どもが自分で周りの動きに気付き集団行動ができるようになる				
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で準備、手洗い、食事、着脱、排泄など基本的な生活リズムが身につくように支援します。</li> <li>身辺自立など、自分のことが自主的に取り組めるように促していきます。</li> <li>のんたんの一日の流れや行動をスケジュールボードや絵カード、タイムタイマー等、視覚や聴覚で伝え、次への見通しが立つようにします。</li> <li>個々に合わせて伝え、スモールステップでできることを増やしていきます。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動遊びを通して、体幹を鍛えたり、姿勢保持ができるように支援します。</li> <li>身体機能を高めたり、感覚統合を促します。</li> <li>歩く・走る・遊具を使った運動などで力のコントロールやバランス力を養っていきます。</li> <li>指先を使った遊びを通して、3本の指先に力が入り、スプーンやフォーク、お箸、鉛筆やハサミなどが使えるようにしていきます。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚遊びを通して、必要な感覚を十分活用し、情報を収集して認知の発達を促します。</li> <li>集団生活の中で流れに沿って行動ができたり、ルールのある遊びが楽しめるように支援します。</li> <li>話している人に注目できるよう声掛けをしたり、環境を整えていきます。</li> <li>一斉指示に気が付き、「今すること」がわかり、できるようにしていきます。</li> <li>五感を通して、形の大きさ・色の違い・空間・時間の概念などの認知力を高めます。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で、言語に限らず、多様なコミュニケーション手段を活用し、一人一人にあった支援をします。</li> <li>本人の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたり、言葉でのやりとりができるように支援します。</li> <li>実物や絵カードを使用したり、ジェスチャーや動きに合わせて言葉で伝えていきます。</li> <li>本人の動作に合わせて代弁し、理解できる言葉を増やしていきます。</li> <li>自由遊びや活動時など個々に合わせて名詞・動詞・形容詞・助詞を使っての言葉かけをしていきます。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活の中で、子どもにとって安心できる信頼関係作りや、支援者との関わりの中で、他者意識を高めていきます。</li> <li>自由遊びの中で、二項関係から三項関係に繋げ、他者との関わりの中で自己コントロールができるよう支援していきます。</li> <li>「待つ・譲る・我慢する」など他者との関わりの中で自己コントロールができるようにしていきます。</li> </ul>			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談を通して、ご家庭に対する相談・育成のサポートの相談援助をします</li> <li>保護者同士の交流の機会の提供をしていきます</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供園や保育所と連絡内容を相互に確認していきます。</li> <li>子供園や保育所と本人の状態等の共有・連携をしていきます。</li> <li>同年代・地域の子供との仲間づくりに繋げていきます。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>各関係機関と連携をし情報収集・役割を共有していきます。</li> <li>各関係機関の情報に基づき、支援方法の提案や助言を行っていきます。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部研修(法人の理念・のんたん独自で作ったのんたんスタッフのためのガイドブック等を使っての研修・虐待防止・身体拘束・個人情報・守秘義務等)の研修を通して職員の意識を高めている</li> <li>外部研修(障害特性・感覚統合等)</li> <li>訓練会(利用者の問題を提案し問題解決の方法を皆でミーティングして支援の方法を考えていく)</li> <li>主任研修(主任の立場や役割を理解し、組織のリーダーとしての自覚を促し自信と責任感をもってもらう)を行っている</li> </ul>		
主な行事等	長期休みのお出かけプログラム・はっぴースマイルデー・クリスマス会等・保護者会・避難訓練				

事業所名

のんたん(放課後等デイサービス①③)

支援プログラム

作成日

7年

2月

10日

法人（事業所）理念		子どもたちが一人ひとり社会の中で自立して生きていくことを目指して自律出来る様な力を育む					
支援方針		個々の障害の特性にあった支援が出来る					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし
目標		<p>① 自分でのんたんのスケジュールを見て確認し、行動できるようになる・・・個々にスケジュールを説明・確認をし視覚（写真・イラスト・実物・時計など）を使って伝えていきます。また、時計を見て、次にする行動を自分で気付けるような声をかけていきます。</p> <p>② できる事が増える・・・子どもたちが興味をもつ内容のプログラムを取り入れ、想像力・感性を生み出せるような素材・題材に工夫し、個々が選択できるようにしていきます。</p> <p>③ のんたんでのルールや集団活動のルールを知り、守ることができる・・・わかりやすく簡潔に伝え、座って話を聞くことができるようにしていきます。</p> <p>行動する前に、約束・ルール・危険な行動を伝えていきます。困った行動をしてしまった時には、否定せず一旦受入れ、正しい行動を本人と一緒に考えていき、個別に対応をし正しい行動を伝えていきます。</p>					
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時、支援者から挨拶をし、挨拶（発達特性の応じた方法）が返せるようにしていき、同時に健康状態の確認をし小さなサインや心身の変化に気付けるようにしていきます。</li> <li>・来所時・食事前の手洗いの習慣をつけていきます。</li> <li>・身の回りの整理整頓が出来るように声をかけ、方法を一緒に考えて実践していきます。</li> <li>・おやつ作りや昼食作りを通して、基本的な生活スキルを身につけていきます。【クッキング】</li> <li>・お出かけから帰ってきたら、手洗い・うがいの習慣をつけていきます。【お出かけ】</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール遊び・縄跳び・巧技台などを通して、体の使い方・体幹・バランス・姿勢の保持の向上へつなげていきます。【運動・大型遊具】</li> <li>・作品作りを通してハサミ・のり・ハケ・筆などの道具の扱い方や基本的動作（切る・ちぎる・握る・折る・通すなど）を習得していきます。【創作】</li> <li>・個々の特性（感覚の過敏・鈍麻など）に配慮し、自己肯定感・自己効力感を高めていきます。【全プログラム】</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールボードに写真・イラスト・時計などを用いて、一日の流れや活動の内容を提示し、個々に確認しながら、自分で行動できるようにしていきます。【全プログラム】</li> <li>・遊びの中で、ブロックなどの立体物作りを通して空間認知の習得へつなげていきます。</li> <li>・季節の移り変わり・実感できるようにしていきます。【創作・お出かけ】</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の特性に合ったコミュニケーションツール（絵カード・サイン・言語など）を使い、意思の伝達ができるように支援していきます。</li> <li>・他者を知り、自己表現力・コミュニケーション能力の向上へつなげていきます。【集団あそび】</li> <li>・お友達と一緒に作る楽しさを体験し、共同作業を通してお友達との関わりができるようにしていきます。【創作】</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との関わり方を模倣・ロープレを通して支援していきます。【集団あそび】</li> <li>・集団活動のルールや社会のルール・マナーを模倣・体験し、身につけていきます。【集団あそび・お出かけ】</li> <li>・危険な行動は、事前に伝え、どうして危険なのかを考えていきます。【集団あそび・お出かけ】</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を通して、ご家族・兄弟に対するの相談・育成のサポート等の相談援助をしていきます</li> <li>・保護者同士の交流の機会の提供をしていきます</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校・養護学校等の連絡内容を相互に確認していきます。</li> <li>・放課後児童クラブ(バンビ)と本人の状態等の共有・連携をしていきます</li> <li>・同年代・地域の子供との仲間づくりに繋げていきます。</li> </ul>

<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関と連携をし情報収集・役割を共有していきます。</li> <li>・各関係機関の情報に基づき、支援方法の提案や助言を行っていきます。</li> </ul>	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修(法人の理念・のんたん独自で作ったのんたんスタッフのためのガイドブック等を使っての研修・虐待防止・身体拘束・個人情報・守秘義務等)の研修を通して職員の意識を高めている</li> <li>・外部研修(障害特性・感覚統合等)</li> <li>・訓練会(利用者の問題を提案し問題解決の方法を皆でミーティングして支援の方法を考えていく)</li> <li>・主任研修(主任の立場や役割を理解し、組織のリーダーとしての自覚を促し自信と責任感をもってもらう)を行っている</li> </ul>
<p>主な行事等</p>	<p>長期休みのお出かけプログラム・はっぴースマイルデー・クリスマス会等・保護者会・避難訓練</p>		

事業所名

のんたん(放課後等デイサービス②)

支援プログラム

作成日

7年

2月

10日

法人（事業所）理念		子どもたちが一人ひとり社会の中で自立して生きていくことを目指し自律出来る力を育む					
支援方針		個々の障害の特性にあった支援が出来る					
営業時間		9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
目標		<p>①自分で選択をして行動する。 スケジュールと目標を個別化することで過ごし方を自分で考えて選択する機会を作ります。必要に応じて選択肢を提示することで無理なく選択する環境も作ります。</p> <p>②自分を知って認めることができる。 支援者と振り返りをして自分の姿を客観的にも見る機会を作ります。役割やお手伝いなどをやる機会を作り、「できた」を実感できる頻度を増やしていきます。また本児と一緒にスモールステップで目標を設定することで「達成感」を実感する頻度も増やしていきます。</p> <p>③のんたんでのルールを知る機会を増やして守る。 してはいけないことを伝えるのではなく、してほしいことを伝えることで気持ちの切り替えややろうと思う気持ちを養います。また自分で考える機会を作ることでルールを知るだけでなく守ろうと思える気持ちも養っていきます。</p> <p>④自分と相手の思いや気持ちを知り適切な言動が増える。 ト書き発言や場面、相手の気持ちを視覚化することで分かりやすく状況の整理をし適切な言動を一緒に考えていきます。</p>					
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>身辺自立に向けた活動を行い一人で出来る力を身に付ける環境を作り支援を行います。（手洗い・排泄・整理整頓） 安心して楽しく過ごすことが出来るように自らヘルプを出す練習をします。（それぞれに合った方法を見出していきます） クッキング活動を通して調理器具の正しい使い方を知り、基本的な作業（切る・混ぜるなど）が出来るようになり、知識を身に付けていきます。</p>					
	運動・感覚	<p>興味を持つことのできる運動活動の内容を取り入れていきます。 自発的に運動活動に取り組み、運動活動の楽しさを感じながら筋力の維持・強化・体幹を鍛え、体の使い方を学べる環境を作ります。 子どもの気持ちに寄り添い取り組み易い内容や役割を作り、挑戦する機会を作ります。 スモールステップで「できた」を実感する頻度を増やして自信・自己肯定感の向上に繋がっていきます。</p>					
	認知・行動	<p>個別のスケジュールを用意して時間の意識を高めます。 コミュニケーションメモを用いて視覚的に情報の整理をできる環境を作ります。 テーブルゲームの活動内でSSTに関するテキストを用いて楽しみながら感情や言動について学びます。</p>					
	言語 コミュニケーション	<p>日常的に言葉によるコミュニケーション手段だけでなく、文字や記号、ジェスチャー等様々な方法を知り、使うことが出来るように支援を行います。 相談する機会を作ることで気持ちを伝える、聞くことに対する自信や意識を持てるように促します。 ポストイットやメモなどのツールを使い、振り返りや状況の整理をしやすい環境を作り、適切な言動について考える事が出来る環境を作ります。</p>					
	人間関係 社会性	<p>活動・自由遊びに参加しやすい環境（内容・グループ分け）を提示し自分で選択してもらうことで、集団活動の経験が増えるように促していきます。 支援者が関わり方のデモンストレーションを行うことで他児と安定した関わり方の取得が出来るように支援を行います。 自分の気持ちや状況の整理をする練習をして適切なコミュニケーション方法を自分で考えて実践できる環境を作ります。</p>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を通して、ご家族・兄弟に対しての相談・育成のサポート等の相談援助をしていきます</li> <li>・保護者同士の交流の機会の提供をしていきます</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校・養護学校等の連絡内容を相互に確認していきます。</li> <li>・放課後児童クラブ(バンビ)と本人の状態等の共有・連携をしていきます</li> <li>・同年代・地域の子供との仲間づくりに繋がっていきます。</li> </ul>

<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関と連携をし情報収集・役割を共有していきます。</li> <li>・各関係機関の情報に基づき、支援方法の提案や助言を行っていきます。</li> </ul>	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修(法人の理念・のんたん独自で作ったのんたんスタッフのためのガイドブック等を使っての研修・虐待防止・身体拘束・個人情報・守秘義務等)の研修を通して職員の意識を高めている</li> <li>・外部研修(障害特性・感覚統合等)</li> <li>・訓練会(利用者の問題を提案し問題解決の方法を皆でミーティングして支援の方法を考えていく)</li> <li>・主任研修(主任の立場や役割を理解し、組織のリーダーとしての自覚を促し自信と責任感をもってもらう)を行っている</li> </ul>
<p>主な行事等</p>	<p>長期休みのお出かけプログラム・はっぴースマイルデー・クリスマス会等・保護者会・避難訓練</p>		

事業所名

のんたん分室(放課後等デイサービス分室)

## 支援プログラム

作成日

7年

2月

10日

法人(事業所)理念		子どもたちが一人ひとり社会の中で自立して生きていくことを目指し自律出来る力を育む						
支援方針		個々の障害の特性にあった支援が来ている						
営業時間		9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
目標		①自己選択・自己決定・自己責任 ・選択枠を増やし、決定する機会を作ります。・選択・決定したことに対し、視覚ツールなどを利用し振り返り考え直すきっかけを作ります。 ②様々な経験や交流を積み、自己有能感を高める ・繰り返した内容な作業を行い、出来ることを増やします。・話を聞いて、本人の気持ちを認めたうえで考え方を広げていきます。 ③自分で感情のコントロールと適切な行動ができる ・視覚ツールを使用し適切な行動の促しを継続します。・自分自身の解決方法を探り、「まあいいか」と思える範囲を広げていきます。 ④一般的な社会のルールを知り守れる ・座学やロールプレイを使い、実際に経験をやる機会を増やします。・細かなルールを個別で伝え、分かっただけで実践していきま。・正しいことをした場合は認め、日常に汎化されるようにしていきます。						
		支援内容						
本人支援	健康・生活	・子ども達の特性や発達過程を考慮しながら身辺自立に向けた生活スキル(衣食住・挨拶・エチケット・マナー等)を獲得できるように支援していきます。(LST) ・クッキングを通して、食生活の自立に近づけます。(クッキング) ・社会生活を送る為に必要なスキルやマナーを学び、経験を積んでいきます。(おでかけ・LST・日常等) ・自尊心・自己へのいたわり、自己受容を芽生えさせ、ストレス軽減方を知る(ヨガ・LST・日常等)						
	運動・感覚	・運動・レクリエーションや創作を通して体の使い方や感覚を養えるよう支援していきます。 ・難しいと感じる事は、代替案を支援者と考えながら成功体験を重ねることができるよう支援していきます。 (創作・運動・レクリエーション他)						
	認知・行動	・お出かけ等を通して社会のマナーやルールを学び、身辺自立に必要な(お金の使い方)や行動の取得ができるよう、イラストやタイムスケジュール等を使いながら、適切な行動が行えるよう支援していきます。(おでかけ・レクリエーション他) ・できる事を聞いたり、掲示し本人に選択してもらいできる事を増やしていきます。(全活動) ・自分の行動について振り返る場面を作り、次につなげていきます。 ・形にとらわれず表現する楽しさや作る楽しさを経験し余暇につなげていきます。(創作・クラフト)						
	言語コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーション手段だけでなく、視覚支援ツールを活用しながら、子ども達が意思表示が行いやすい方法で支援を行っていきます。(SST・LST等) ・買い物時のコミュニケーションパターンを知り、実際に経験していきます(お出かけ・長期休み) ・余暇を通して、						
	人間関係社会性	・活動を通して親以外の大人(講師・スタッフ)や子ども同士の関わりを重ねながら、他者と安定した関わり方の取得が出来るように支援をしていきます。(SST・LST・ヨガ・レクリエーション) ・相談できる環境を作り、傾聴し本人の気持ちを聞き、本人の気持ちを認めた上で考え方を広げていきます。(日常)						
家族支援		・面談を通して、ご家族・兄弟に対しての相談・育成のサポート等の相談援助をしていきます ・保護者同士の交流の機会の提供をしていきます		移行支援		・各学校・養護学校等の連絡内容を相互に確認していきま。・同年代・地域の子供との仲間づくりに繋げていきます。		
地域支援・地域連携		・各関係機関と連携をし情報収集・役割を共有していきま。・各関係機関の情報に基づき、支援方法の提案や助言を行っていきま。		職員の質の向上		・内部研修(法人の理念・のんたん独自で作ったのんたんスタッフのためのガイドブック等を使っての研修・虐待防止・身体拘束・個人情報・守秘義務等)の研修を通して職員の意識を高めている ・外部研修(障害特性・感覚統合等) ・訓練会(利用者の問題を提案し問題解決の方法を皆でミーティングして支援の方法を考えていく) ・主任研修(主任の立場や役割を理解し、組織のリーダーとしての自覚を促し自信と責任感をもってもらう)を行っている		
主な行事等		長期休みのお出かけプログラム・はっぴースマイルデー・クリスマス会等・保護者会・避難訓練						